



9
3455
1



益軒貝原先生集

益軒

家道訓

御枝軒壽椿

家道訓卷之一

貝原篤信編

人の世はあつたなりきやうき世なりとせむ
 とおとそりたるをいつとわしむ家のなか
 身いなり。故は家ばかり主人いふと
 う身とふりておとそりのあつた身と
 海うされいおとそりのいふと。家とこのいふ
 んとと安くいふと。君子いつと。身と
 アと。後乃患と。おとそりいふと。家と

島田書

3455 1-3

右

常に礼とありて肉親と云くとも一皮の
正しきこれに於て言ひ終る事も皆つら
くありしなり。是れとあるは神也。肉親と云
くはもとていふ父子兄弟夫婦のつらき一
くうやまひあり。家人とあるはもとて悲し
人といふはせつらうにせらるるに耐え
るものなり。これとありておぼしき中なるなり
と。色慾はつらき心と云く淫行なりと

父母よりよく常に力と勤しむ時のことす。い
 膝下ははくかきしに。夜寝は夕ふさぎて
 朝よりうきうきといふうきくす。いひかれさ
 人も朝夕のる。時くつとわく父母乃ちあはれ
 たりはくさくさ。いひはくさく。飲食乃味
 くらして。うきうき。温の節とくさく。さく
 す。冬は父母とわくさく。夏は涼しくす
 へ。おめおれ。いひ父母は。対面し。四より

れい必父母とるる。父母は對しては親
 色を温^{ニョウ}和^{ラン}としてとんとす。父母の
 色はよりこり。父母の身と心なる。二乃に
 と心^{ナク}願へるは是皆人の子たる者のさう
 なるは也。けはよそひへるは。父母の身と
 つのよそひ慕^シひて。心よりもくわとれなる
 を孝とす。

兄弟はひとり。まぬわして別。わりの妻とこ
らひくみれとて。子牙とわんぐ。

わくむしとさういふ彼もよつとそむい^グが^クん
私^シはくみ^ミを^ヲとみ^ミら^ラひ^ヒと^トれ^レと^トつ^ツと^トあ^ア書^カき^キと
よ^ヨと^トそ^ソを^ヲち^チし^シよ^ヨと^トあ^アり^リあ^アり^リし^シに
一^一。元^元子^子の^の教^教は^ハ必^必要^要な^ナる^ル一^一
元^元家の^のま^まう^うと^とあ^アは^ハや^ヤら^ラし^シる^ル人^人は^ハま^まう^う父^父母^母
い^いう^うつ^つと^とあ^アは^ハ一^一つ^つと^とあ^アり^リし^シに^ニ決^決て^テ妻^妻
と^とみ^ミら^ラひ^ヒし^シる^ル元^元子^子を^ヲや^ヤら^ラし^シる^ル要^要は^ハ
そ^その^の次^次は^ハ子^子を^ヲつ^つと^とあ^アは^ハし^シる^ルに^ニ決^決て^テ
い^いう^うと^とあ^アは^ハし^シる^ルに^ニ決^決て^テあ^アり^リて^テあ^アり^リて^テ

くらあきさるゝとんまゝしてハ先入ル言を
 とめら後はさるゝとんまゝてもうくは
 あきさるゝとんまゝハ後はあきさるゝ
 改りゝゝ

先祖^{センゾ}伝^{デン}たうとい^イ時^{トキ}高^{タカ}乃^ノ孝^{コウ}礼^{レイ}あ^アる人^{ヒト}と
と親^{シン}戚^{セキ}を^ヲあ^アる^ル人^{ヒト}と^シて^シ親^{シン}戚^{セキ}い^イう
と^シて^シ外^{ガイ}人^ニは^ハあ^アる^ル人^{ヒト}と^シて^シ送^{ソウ}ち^ニら^ニう^ニ國^{コク}は^ハを
あ^アる^ル人^{ヒト}乃^ノあ^アる^ル人^{ヒト}と^シて^シ國^{コク}家^カ乃^ノ政^{セイ}
と^シて^シあ^アる^ル人^{ヒト}と^シて^シ國^{コク}政^{セイ}と^シて^シ

ふい。是丈ぢり。不忠不敬のつらぢりつじ
ひー。そは人ありとも。要回^{ライ}を以て。只成^{トモ}成
んて。えつゝに。井とてわの方とくろくか
さめくつ。ひよわの^{よか}成せひ。へんをせあ。人
の不成成。ひよといやうめとともへ。

凡そ如くせしむるは。父と子と兄弟と
親をわづかすべし。古より父子を
孝とす。夫婦を夫婦とす。父母の
命を敬ふ。兄弟を敬ふ。夫婦を敬
ふ。父母を敬ふ。兄弟を敬ふ。夫婦
を敬ふ。父母を敬ふ。兄弟を敬ふ。
夫婦を敬ふ。父母を敬ふ。兄弟を
敬ふ。夫婦を敬ふ。父母を敬ふ。

ていりたり

凡そありて人よはりりるよりなり
かして無^アき^アじりきと要^アい^アて
け^アされ^ア人の道^アに^アて^アけ^アけ^アす^アて
教^アと^アな^アす^アて^アも^アい^ア人^アと^アあ^アれ^アて
あ^アら^アる^アふ^アさ^アる^アも^ア教^アと^アい^ア人^アを^アふ^アや^アし^ア
て^アあ^アら^アる^アふ^アさ^アる^アあ^アら^アる^ア二^アい^アと^アて^ア人^ア偏^ア
ま^アら^アる^アて^アあ^アら^アる^アふ^アさ^アる^アあ^アら^アる^ア
ハ^アも^ア教^ア乃^ア外^アなる^ア一^ア父母^アと^アも^ア教^アと^アる^アと^アは^ア

とて。兄才まぬ親戚ト人よ射とるも
あ^アら^アる^ア。各^アと^ア人^アの^アふ^アより^アて^アも^ア教^アと^ア
一^ア。と^アも^アあ^アら^アる^アも^アあ^アら^アる^アふ^アさ^アる^アあ^アら^アる^ア
あ^アら^アる^ア。あ^アら^アる^アに^アて^アも^アあ^アら^アる^アふ^アさ^アる^ア
も^ア教^アと^アる^ア

毎日つゝい^アて^アあ^アら^アる^アも^アあ^アら^アる^アふ^アさ^アる^ア
の^アま^アあ^アら^アる^ア。飲食^アの^アあ^アら^アる^アふ^アさ^アる^ア
て^アあ^アら^アる^アも^アあ^アら^アる^アふ^アさ^アる^ア
と^アあ^アら^アる^ア。父母^ア乃^アあ^アら^アる^アふ^アさ^アる^ア

ぬき自のつとじふき裸殺をさつけとてえ
 奴婢も自乃不化とてつきおとるありあ
 しあ外するありは役を令一人の附託の
 らに滞なくさぐのふし朝いよくせし戸
 とよく開ておめれ塵をさぐし戸の内外
 を中と掃除して皆いふれとてさぐし朝
 せしわぐのいふれとてさぐしおめれ
 一。おめれの塵をさぐし朝いよくせし
 速とい試しとてさぐしおめれ

九家内の平目乃用をへりてよりあくと
 一。才一。才一の材としての料を成る如く
 次は熟おもとく之脯塩とほく。新炭油
 とくよりあつじ。右の貯まはまば
 の計に。奴婢とあつれ。衣食居を
 をあつて飢寒を。あつて。あつて。あつて
 一。男女内。乃別。成。く。武。出。徐。出
 乃。矢。鉄。炮。杖。持。多。成。常。以。後。に。下
 外。地。く。一。常。以。用。の。器。と。く。あ。つ。て。あ。つ。て。

黒乃ろとあるとハ修補し。厩宅蔵庫牆
 壁の破損せる所を修理し。村本竹茅
 土石伐取れ行へる所を切払い。家内
 りくまき高敷と申すい草薙草の本付ふ
 明つくり中一丁下し。庭のわけをせし
 けれとおより盗賊火災の用をとり
 さいりぐちをおさるるに。火紙をくき
 たりも平日ゆへに。元家のものをつひん
 と申しおらるるべし

百姓の小事を大事とす。夫れを勤儉と云ふ。勤は怠らず、儉は
 奢らず。勤は富の基、儉は富の源。勤は富の基、儉は富の源。勤
 は富の基、儉は富の源。勤は富の基、儉は富の源。勤は富の基、
 儉は富の源。勤は富の基、儉は富の源。勤は富の基、儉は富の源。

家のまじつのはにむしめて苦を給ふといふや
こころはむしつて縁結わうは兄弟親戚乃
貧窮をふれり朋友の食ふは腹をわが
采地乃老人の錢をさすといふやあは久
く來れる多國ある老よはとうに窮民
のふりあたる老のうはわらうははは
てすつていふ人の肉をむ人病老時人
解る盲塞痛むく子れく幼く父る老
告るりる人親族をてさうう食は成り

ふひんさねて老人とちる老あり是皆
窮民のよりある人であれはてある
誰ある老ありはるのるははといふ
くしうある老のやういふとてあは
く人とするいふ言はるる人なる也
最ふいふも也をて用ふて漢の明帝
の才東平王の初はあおられよ明帝
乃汝國はわつて何うあるとて問ふ
あ平王國ふありて何とてあるや

凡家人とつゝよ人の如くせうらゝねい

家とやいひるふに乃教あり一よい家業を勸

張簡明

まの

家道訓卷之二

貝原篤信編

おのわさばよくつとむに利^リ害^{ガイ}の求^{モト}めと
てそ内^{サマ}ふあり。士^{サマ}ももろとよくつとむて
るうらつとど。農^{ノリ}の田^タ島^{シマ}とよくゆりてそ^キは
それて公^{コウ}役^{ヤク}をよくつとむ。工^{コウ}の器^キ物^{モノ}よく
つくよくゆり出^デ。そさうなる物とよく
アそ人と欺^{アサス}に高^{シヤウ}の交^{カウ}易^{エキ}とつとむて
らと。利^リとよく。民^{ミン}の心^{ココロ}のよく

信^{シン}の必^{カナラ}わさういふ。勤^{チン}信^{シン}の二まつ解^{トク}
ち^チり^リの^ノ一^{イチ}。さ^サの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
し^シの^ノ一^{イチ}。勤^{チン}の^ノ一^{イチ}。道^{ドウ}の^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
信^{シン}の^ノ一^{イチ}。地^チの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
さ^サの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。

うさる身^ミの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
た^タの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。

ち^チの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
ら^ラの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
て^テの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
又^{マタ}の^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。
あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。あ^アの^ノ一^{イチ}。

いづはある所よ。人とあひあひと

客と申すの事は^{キヤク} 飲食を^{シヤク} はどまら^{シム} 実^{ジツ} はあつたよ
うな事をいひます。うづううう。今更^{イマ}
くれといふはよく。味^{アジ} とよくしてすじに
酒をとむるよしあるべし。あつたのじ
んのを^{リヤウ} 煮てきこふべし。あつたより。
あつたもれ^ジ 餅^{コト} もいそぎや。何となく。酒を
このんでのびんかもし。あつたのあつた。

帝代よりしてたゞさるゝ害れ。人々
にあらざる。人々。人々。人々。人々。
われ。礼義と失ひ。乱。乱。乱。乱。
病。病。病。病。病。病。病。病。
ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。
人々。人々。人々。人々。人々。人々。
人々。人々。人々。人々。人々。人々。
人々。人々。人々。人々。人々。人々。
人々。人々。人々。人々。人々。人々。

ころなり。和漢古今すれうに於る
 ちろものいり也。元徳云。おそくへり
 そあれるにも^{カス}けねとて^{ウチ}修めれを必
 あやまる。つゝし。周子曰。家人の辭々
 り。必婦人よある

家の主人ニヒジンより人に物を作サし人々を以て礼を
 へする儀たるをよとせし。小徳儀たるをよと
 せし。此を實ニヒめたるをよとせし。と云ふ
 事なり。或る人の言ふ所を以て云ふ

一、諸君、學者乃くくあるを、
人、明く、小、家、を、一、
多、人、と、く、く、く、
一、と、く、く、く、

富者の家より貧乏なる親戚の出入りある
 人乃に其のありきよりあつたれども其
 の面目とよりあつた人のありきと
 あり

わがため大事なりとて^ミあ^リき^ヨに^ケ決^ツてゐる

家と世とじつふ男女の別なく内外の辨と
 じつふするに淫乱なりしじつふに男女
 の別なく家法正しむされい子牙乃とも
 うれ儀なく風俗みくらふて淫乱お
 けく家風とけうに罪ふおらふ子牙と
 うて淫邪はやむじつふと
 婦人女子の志らく外は山くれ節をはとち
 遊観とこのじつふに女に内は居て
 家と治るは職とす。おに山くらふ志けき

ハムル^{ハムル}の親戚^{レキ}の方と忠役をいふ言は
通とて

婦女いしめれ付^レ法^イ柔^{ロウ}に^レく^レち^レま^レく^レま^レく^レの^レ女^メ
 邪^{ジャ}ち^レら^レに^レま^レく^レま^レく^レひ^レに^レ奴^ヌ僕^{ボク}の^レま^レく^レひ^レ
 一^レに^レま^レく^レま^レく^レ義^ギ理^リの^レま^レく^レま^レく^レひ^レに^レま^レく^レひ^レ
 悪^{アク}の^レま^レく^レま^レく^レと^レに^レま^レく^レま^レく^レひ^レに^レま^レく^レひ^レ
 悪^{アク}の^レま^レく^レま^レく^レと^レに^レま^レく^レま^レく^レひ^レに^レま^レく^レひ^レ
 不^フ明^{メイ}の^レま^レく^レま^レく^レと^レに^レま^レく^レま^レく^レひ^レに^レま^レく^レひ^レ
 不^フ明^{メイ}の^レま^レく^レま^レく^レと^レに^レま^レく^レま^レく^レひ^レに^レま^レく^レひ^レ

らいら事しうれる人

家人のこれ義と云うてあるものと
さうも一じい。ある物あるのらう
ひのちそ一れとあると云くは、
より一じい。ある物あると
ふち也。これと云うてあると云くは、
たくとある物に付くあると云くは、
病に付くあると云くは、病に付く
は病に付くあると云くは、病に付く

て某服をいふ。其病に付くあると
云くは、

家のさう人ある。家のさう人ある。
家は乃と云うてあると云くは、
とす。いふ。あると云うてあると云くは、
家のさう人ある。家のさう人ある。
さうと云う。是古人のさうと云くは、
人もある。のさうと云くは、
奴婢をつとふ。さうと云くは、

あつてかまされぬ死のそんで中々れ
とひれいば計^{ケイ}なりうれ人^{ヒト}朱^シ新^{シン}仲^{チュウ}の
計^{ケイ}なりそのひれ人^{ヒト}のそむ計^{ケイ}なり
計^{ケイ}なりそむて計^{ケイ}なりそむ人^{ヒト}のそむ計^{ケイ}なり
計^{ケイ}なりそむて計^{ケイ}なりそむ人^{ヒト}のそむ計^{ケイ}なり

家道訓卷之三

具原篤信編

人の子孫より老いずるなり先祖のあはれ
ちりて失^ヒふはれんたしむる子孫力^{チカラ}は
とつともよくそむるなりちりてつるも
そむるなりそむるなりそむるなりそむる
先祖よりそれほよの才^{サイ}智^チありそむるなり
何^{ナニ}なりそむるなりそむるなりそむるなり
樂^{レキ}一^{イチ}世^{セイ}のありそむるなりそむるなり

○
け
り
の
り
の
り

へきばくちなりはあゝも人つゝる家
はハ必^ケ固^ゴめてやれな〜子孫くま
はをちれいやれち〜ういふ〜ま
孫才力^{チカ}能^ノめとされる人あり〜は〜あ
てあとおき〜る先祖いふ〜の〜ま
子孫利^リひめて先祖のさうあ〜は〜ま
ひ〜の事ゆ〜今乃^{イマノ}やあ〜ら〜と
そ先祖とあ〜ら〜てまはをやり
彩^{イロ}はと〜る必^{カナラ}もあ〜る先祖のはを

○
の
り
の
り

おもひ〜てちうひ〜るあ〜るま
久^{キウ}り〜
あゝは^{タイ}射^{シャ}とらふ^ガ嚴^{ガン}正^{セイ}とて^ト厚^{コウ}重^{チュウ}されいあつ
〜威^イありて人あ〜るひ〜のあ〜れ
いりて〜け〜るあ〜るま
あゝら
子^シ弟^{テイ}いふ〜るあ〜る^{タイ}射^{シャ}とらふ^ガ嚴^{ガン}正^{セイ}とて^ト厚^{コウ}重^{チュウ}されいあつ
あゝら〜るあ〜るま
あゝら〜るあ〜るま
あゝら〜るあ〜るま

辰通川三

七

くめくふからばえりて老るるわしく
るくもきあきばちくはくいとくも
行^を繰^をあつ家の實客^{シヤク}と司^{シヤク}あつてゐる人の
行勢^{シヤク}ふけりてそれく定あてあつて
主人よりけくもつてそれと戒^{イレ}め
しきやうくもせやくうけやうく
れちんてきふかき思ふ人として
あま人もばちくはく人かや
人のいふ防^フのくく大おとせうんてあ

くく目やりのけつてはきくけいけいの
まきく人くく防^フまきく
けいあつて人あのはひわ
きく女奴婢のくくあつて
あまのけくはくく内外あ
てあつてあつてくく
ほきつてくくすくく
あまのけくくく
まきくくくく
まきくくくく

口
ハナ
ハナ

ふそれいふなきなりわさういふくもの
無事出来くはいねえうーまじく
どしれいーまじく教へ推がぬを秘
秘にええふは秘教よとゆえーも
此さうらうーやうやうさけらう
用ひとてあるー多し。事成ると
すれいらうなるい

古く。一物あるに一果とてやうなる
多し。物あるに。何れも一物ある

口
ハナ
ハナ

とは必し物をさうなれや。一乃まう
しとてさうもさうなる。このめいしと
とつて人とならう。この人なれい
すれい。とてさう。さう。さう。さう
人父のあまのりて孝のよし。戸を
職とあづかる人。藝術のあまのり。人
多し。人いふと。清く。事とてさう
とてさう。さう。職とてさう。事と
ね。物をさう。さう。さう。この

いづれはゆるやふなりとてあつ人といふ
いづれはたなりとて

あゝ是れも國ありても昔はゆひ道は
さういふとまゝにたゞしはなゝあ
つたあゝいふて昔はゆひとてくく
いゝあゝいふれぬとて賢者ゆひとて
まゝの古とてゆひとてゆひとてゆひとて
ハ新なりゆひの面ゆひとてゆひとて
習訓ゆひとてゆひとてゆひとてゆひとて

道とてゆひ賢者はあゝまゝのいゝとて

ゆひとてゆひ人をうゝみやとてあゝ史記曰
知のまゝにゆひとてゆひとてゆひとてゆひとて
うゝあゝあゝ人なりゆひのまゝなゝとて
あゝゆひとてあゝゆひとてあゝゆひとて
あゝゆひとてあゝゆひとてあゝゆひとて
あゝゆひとてあゝゆひとてあゝゆひとて
あゝゆひとてあゝゆひとてあゝゆひとて
あゝゆひとてあゝゆひとてあゝゆひとて

能^{リキ}む^ハは^ハ葉^ハ樹^ハ松^{モミ}松^{モミ}金^キ松^{イヌモミ}冬^ナ
葉^ナ樹^ナは^ハ竹^{タケ}と^ハ木^キの^ハ多^タく^ハ一^ハと^ハ火^ヒと^ハ風^{フウ}
と^ハ雪^{ユキ}と^ハ雨^{アメ}と^ハ日^ヒの^ハ体^{タマ}は^ハお^ハな^ハは^ハ柳^{ヤナギ}松^{マツ}
柘^{ササキ}と^ハ一^ハと^ハ木^キの^ハ多^タく^ハ一^ハと^ハ火^ヒと^ハ風^{フウ}
故^カ多^タく^ハ一^ハと^ハ木^キの^ハ多^タく^ハ一^ハと^ハ火^ヒと^ハ風^{フウ}
宅^{タチ}中^{ナカ}の^ハ多^タく^ハ一^ハと^ハ木^キの^ハ多^タく^ハ一^ハと^ハ火^ヒと^ハ風^{フウ}
葉^ナ樹^ナは^ハ竹^{タケ}と^ハ木^キの^ハ多^タく^ハ一^ハと^ハ火^ヒと^ハ風^{フウ}
事^{コト}は^ハお^ハな^ハは^ハ柳^{ヤナギ}松^{マツ}

